

# 防災フォーラム 2016 - 熊本地震に学ぶ - 災害と災害弱者

2011年の東日本大震災では災害へのいろいろな備えが、たくさんの命を救いました。また、この震災後も各地で災害が頻繁に起こり、防災への備えの重要性が高まってきました。そんな中で2016年4月熊本地震が起こりました。そのとき、どんな地震の備えが役立ち、今後どのような備えが必要なのか、特に、災害弱者と言われる障がい者、高齢者、子どもへの支援はどうだったのかを学び、近畿で起こる災害に備えます。

熊本支援報告 「子ども支援」「高齢者・コミュニティ支援」 13:15～13:50



基調講演 「熊本地震と障がい者」 13:50～15:10

講師 東 俊 裕

被災地障害者センターくまもと事務局長 1953年生まれ、生後1歳半で小児まひ。現在車いすで生活。1989年から弁護士活動に入るとともに、障害者の人権にかかわる運動にかかわる。国連の障害者の権利条約に関する特別委員会の日本政府代表団の顧問を務め、その批准のために内閣府に設置された障がい者制度改革推進会議の担当室長を務めた。現在、弁護士とともに熊本学園大学教授を務める。

パネルディスカッション

「災害と災害弱者」 15:20～16:30

パネラー 小島 道子

熊本地震被災地の子ども支援団体訪問報告 奈良教育大学ボランティアサポートオフィス  
ボランティアコーディネーター 奈良 NPO センター理事 えんがわ文庫世話人

後藤 文造

熊本地震被災地災害ボランティアセンター活動報告 奈良市社会福祉協議会地域支援課係長  
社会福祉士、これまで多数の災害ボランティアセンターの運営やコミュニティ支援に関わってきた。

神谷 久子

特定非営利活動法人 N ネット(なら高齢者・障害者権利擁護ネットワーク)常務理事、社会福祉士  
NPO法人日本脳卒中者友の会連合会理事 奈良県脳卒中者友の会「桜の会」理事・事務局長

藤本 隆二

藤本隆二・弘子さん夫妻は、お二人とも脳性麻痺による重度障害者で、奈良で障害者の自立生活運動に早くから取り組んでこられた方です。息子さんは独立され、今は夫婦二人で奈良市に住んでおられます。

江川美奈子

NPO 法人きららの木 理事長 知的障害児の母、2011年5月、養護学校卒業後の子どもが、地域で自立した日常生活や社会生活を営むことができる通所事業を展開。内閣府男女共同参画局女性のチャレンジ賞受賞(2016年)

成田 修

社会福祉法人わたぼうしの会 統括施設長 たんぽぽの家で現場に従事し、福祉とアートをテーマにした事業運営に携わる。奈良県社会就労センター協議会会長、あたらしいはたらくをつくる福祉型事業協同組合副代表理事

コーディネーター

反田 博俊

奈良 NPO センター理事長 東日本大震災以降、NPOセンターでは避難者受入支援、台風被害の十津川、野迫川での道普請ボランティア活動、熊本地震避難者受入支援 防災フォーラムなどを毎年開催。

## お申し込み方法

参加者名、人数、連絡先を明記の上、11月15日(火)までにメール又はFAXで奈良NPOセンターまでお申し込みください。

※当日受付もいたしますが、満員の場合は事前申込者を優先させていただきます。

※ご記入いただいた個人情報は、本フォーラムの運営に関してのみ使用させていただきます。

## 申込フォーム

名前(ふりがな)	人数	名
連絡先電話番号		

お申込み先 奈良 NPO センター内 防災フォーラム担当

お問合せ先 〒630-8223 奈良市角振新屋町 8 ASACOMビル 2F

TEL:0742-20-5027 FAX:0742-20-5028 E-mail:bousai@naranpo.jp